

## 令和元年度 地域と学校の連携・協働に係る研修会

### 《趣旨》

学校と地域が連携・協働した活動の推進を図るため、学校応援団等を中心とした活動の在り方について研修する。また、やまなし子どもの貧困対策推進計画を踏まえて、各小中学校の教職員・保護者・地域住民及び市町村職員等を中心に子どもの貧困対策の周知・啓発を図る。

**日 時** 令和元年12月3日(火) 14:00～16:40

**参加者** 地域と学校の連携・協働した活動に関係する者(学校応援団活動に関係する者、学校支援に関わる地域ボランティア、民生委員・児童委員等)、PTA関係者、学校運営協議会の委員、学校評議員、県内各小中学校の校長、教頭、教務主任、中堅教職員等の教職員、各市町村職員、各教育事務所職員 他 計285名

**場 所** 山梨県総合教育センター 大研修室

**研 修** 地域と学校の連携協働に向けて  
講師：岡田 直人(おかだ なおと) (敬称略)  
○国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員

**内 容** 岡田先生には、「地域と学校の連携協働に向けて」と題した講演で、学校・家庭・地域の連携・協働の経緯・背景等から、学びと活動の循環、さらには地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みをお話いただきました。これらを基に、今後の地域学校協働活動の先進事例や、その効果、さらには今後の課題についても御示唆いただきました。併せて学校運営協議会の最新の動向についても、お伝えいただきました。特に連携については、多くの資料を御用意いただき、今後の山梨県にとって、どう地域と学校、家庭が連携していくことが良いのか、御講演いただきました。



2. 研究  
省共  
3. 調査  
4. イン  
5. 全国

